

【参考】

**第5次草津市総合計画第1期基本計画
（平成22年度～平成24年度）**

ベンチマーク結果

「第5次草津市総合計画 第1期基本計画の期末評価について」 【ベンチマーク結果】の見方

「行財政マネジメント」を含めた5つのまちづくりの基本方向を記載しています。

「人」が輝くまちへ

◆人権

22の分野を記載しています。

57の基本方針ごとに評価をまとめています。

第1期基本計画に記載されている「現況」と「課題」を転記しています。

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●：課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H21	H22	H23		H24
1	人権文化の醸成	<p>○人権尊重と世界恒久平和を願い、地域社会から人権文化の醸成を図ってきていますが、現在も依然として、人権や平和を脅かす状況があります。</p> <p>●人権の大切さと平和の尊さを踏まえた地域社会づくりに向けて、すべての市民が同和問題をはじめ、あらゆる人権問題を解決するため行動する必要があります。</p>	人権と人の多様性を尊重する人が増える！	人権が尊重されるまちであると思う市民の割合	%	目標値	—	24.0	25.0	26.0	 81.5%
						実績値	23.2	22.1	25.8	21.2	

目標像: 第1期基本計画において、57の基本方針ごとに定めたいまじの「目標像」です。

ベンチマーク: 目標像の実現に向けたまちづくりの進捗の目安となる達成指標です。

目標値と実績値: 第1期基本計画策定時に定めた目標値と、第1期基本計画期間中の実績値です。(上段は目標値、下段は、H22年度～H24年度の実績値を記載しています。)

目標達成度: 第1期基本計画の期末である平成24年度の目標値に対する平成24年度の達成度を割合で示しています。図の着色は目標達成度を視覚的に確認いただけるよう、目標像を示すイメージイラストに概ねの目標達成度相当分を着色しています。

「人」が輝くまちへ

◆人権

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
						H21	H22	H23	H24		
1	人権文化の醸成	○人権尊重と世界恒久平和を願い、地域社会から人権文化の醸成を図っていますが、現在も依然として、人権や平和を脅かす状況があります。 ●人権の大切さと平和の尊さを踏まえた地域社会づくりに向けて、すべての市民が同和問題をはじめ、あらゆる人権問題を解決するため行動する必要があります。	人権と人の多様性を尊重する人が増える！	人権が尊重されるまちであると思う市民の割合	%	目標値	—	24.0	25.0	26.0	 81.5%
						実績値	23.2	22.1	25.8	21.2	
2	人権の擁護	○「草津市人権擁護に関する条例」に基づき、人権擁護の視点から対策を講じていますが、同和問題をはじめとする様々な人権問題がさらに多様化・複雑化してきています。 ●同和問題の解決を図るとともに、人権問題全般の多様化・複雑化に対応し、他の相談機関との連携を強めていく必要があります。	人権侵害を受けた人が守られる！	人権相談で困りごとが解決または軽減された割合	%	目標値	—	83.0	85.0	88.0	 80.6%
						実績値	約80.0	70.0	70.3	70.9	

◆男女共同参画

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
						H21	H22	H23	H24		
3	男女共同参画社会の構築	○固定的な性別役割分担意識にとらわれず、それぞれの個性と能力が十分に発揮できる社会づくりに関して、その遅れを国際社会から指摘されています。 ●男女がともに社会の対等な構成員として、一人ひとりの個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画の社会づくりをさらに進めていく必要があります。	男女がともに喜びと責任を分かち合える！	男女共同参画が進んでいると思う市民の割合	%	目標値	—	16.0	18.0	20.0	 73.0%
						実績値	15.6	15.2	18.8	14.6	

◆教育・青少年

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
						H21	H22	H23	H24		
4	学校教育の充実	○“開かれた行動する教育委員会の運営”のもと、教育振興基本計画を策定しながら、児童生徒を守り育てる教育行政を展開しています。 ●充実した教育環境のもとで、児童生徒一人ひとりの学力向上を図るとともに、豊かな心と健やかな体を育成していくことが求められます。	「学校教育が充実している」と考える市民が増える！	学校教育の充実に満足している市民の割合	%	目標値	—	29.0	32.0	35.0	 84.3%
						実績値	27.1	27.4	29.3	29.5	

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●：課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
						H21	H22	H23	H24		
5	学校施設の整備	○改築や耐震化等が必要な施設の多くについて、一定の整備が進んできていますが、一部に老朽化に伴う改修が必要な施設があります。 ●児童生徒の安全確保を最優先に、財政負担の年度平準化を図りながら、よりよい教育環境整備を計画的に行っていく必要があります。	子どもの学習環境が充実している！	小・中学校の耐震化率	%	目標値	—	93.7	100.0	100.0	 100.0%
						実績値	87.4	93.9	100.0	100.0	
6	青少年の健全育成	○青少年の問題行動が多様化、低年齢化しており、学校・地域・家庭の教育力の低下などが指摘されています。 ●地域の青少年を地域で守る意識を地域ぐるみで共有しながら、専門機関等とも連携した取り組みの展開を図っていくことが重要となっています。	青少年が地域の中で健やかに成長している！	青少年からの相談件数	件	目標値	—	1,200	1,200	1,200	 62.9%
						実績値	680	841	673	755	

◆生涯学習・スポーツ

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●：課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
						H21	H22	H23	H24		
7	生涯学習施設の整備・充実とネットワーク化	○市民の生涯学習活動は、活発な広がりを見せていますが、その活動や成果を、発表するための場が不足しています。 ●専用の文化芸術等の展示・発表の場、また、絵画・工芸等の専用の実習室やオーケストラ、吹奏楽、合唱団等の練習場の充実が求められます。	いつでも誰でも楽しく集って学べる！	「ゆうゆうびと講座」の参加者数	人	目標値	—	140	150	160	 89.4%
						実績値	122	216	132	143	
8	生涯学習活動の振興	○学びを通しての“生きがい発見”の機会づくりは、市民が生涯にわたって充実した生活を送るうえで、ますます欠かせないものとなってきています。 ●より多くの市民の、多様な生涯学習ニーズに応えられるよう、講座等のいっそうの充実を図ることが求められます。	暮らしの中で「学び」を楽しむ市民が増える！	生涯学習ガイドブック「誘遊友」に掲載の講座の受講者数	人	目標値	—	16,600	16,700	16,800	 139.1%
						実績値	—	16,621	28,175	23,363	
9	地域学習社会の形成	○地域協働校の開始以来、地域の子どもと大人が、学び・かかわり・喜び・認め合って協働し、「共育ち」を得る地域学習社会づくりを進めてきています。 ●地域づくりの取り組みとの連携をさらに強め、また、子どもがより主体的に取り組むことのできる段階へと移行を図っていく必要があります。	世代の交わりのもとで地域の学びが深まる！	地域協働校の参加者数	千人（延べ）	目標値	—	173.0	176.0	179.0	 77.7%
						実績値	約140.0	約140.0	約140.0	約139.0	

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
						H21	H22	H23	H24		
10	市民スポーツの振興	○スポーツは、楽しみ・仲間づくり・健康づくりなど、市民が生涯にわたって健康で豊かな生活を送るうえで様々な効果があり、多くの市民が親しんでいます。 ●市民スポーツの一層の振興のため、スポーツによる仲間づくり・健康づくりの支援や、施設・設備の整備などが求められています。	スポーツを楽しむ市民が増える！	スポーツに親しむ市民の割合	%	目標値	—	47.0	48.0	50.0	 98.2%
						実績値	45.4	52.7	56.9	49.1	

◆市民文化

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
						H21	H22	H23	H24		
11	市民文化の醸成	○市民の草津への愛着や市民文化への意識の高まりなどをまちづくりの中心に組み入れ、“ふるさと草津の心（シビック・プライド）”を醸成していくことが求められます。 ●生活文化・地域文化・芸術文化を継承し、誰もがこれらにふれる機会を充実させ、ネットワーク化を図る必要があります。	みんなが文化を通じたまちづくりに参加している！	市民音楽祭等文化行事・催事の参加者（発表者・出品者・鑑賞者）数	人	目標値	—	4,500	4,800	5,000	 126.9%
						実績値	2,920	7,945	6,213	6,343	
12	歴史資産の保全と活用	○地域に根ざした歴史資産は、まちの歴史や文化、伝統を理解するために、また、市民文化を新たに発展させるために欠くことのできないものです。 ●各種文化財等を適切に保全するとともに、その情報等を積極的に発信し、市民の貴重な財産を次世代へ大切に継承していく必要があります。	文化財への興味や理解を持つ人が増える！	史跡草津宿本陣の入館者等の数	人（延べ）	目標値	—	27,500	28,000	28,500	 100.7%
						実績値	約27,000	28,737	29,553	28,712	

「安心」が得られるまちへ

◆子ども・子育て

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
						H21	H22	H23	H24		
13	母子保健等の充実	○少子化や小世帯化、都市化と地域関係の希薄化、若年・高齢出産の増加、社会経済情勢の悪化などにより、家庭の“子育て力”が弱まっています。 ●「子育てが孤立している」「子どもとの接し方がわからない」など、子育てに不安や問題を抱える家庭を、地域社会として支援する必要があります。	子育てに不安を感じる人が少なくなる！	すこやか訪問の利用率	%	目標値	—	95.0	96.0	97.0	 97.6%
						実績値	93.6	97.2	98.0	94.7	

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●：課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
						H21	H22	H23	H24		
14	就学前教育・保育の充実	○学びの基礎となる体力や豊かな情操、道徳性を培うために幼稚園、保育所（園）において就学前の子どもの教育・保育を実施しています。 ●就学前の教育の充実を図るために、幼保が連携し、教育・保育の取り組みの統一を図る必要があります。	安心して子どもを預けられる！	保育所待機児童数	人	目標値	—	60	30	0	 0.0%
						実績値	92	95	138	144	
15	放課後児童対策の充実	○放課後児童の家庭に代わる生活の場として良好な環境のもと、遊びや生活を通してその子どもの健全育成を図っています。 ●必要とする放課後児童がすべて入会できる児童育成クラブ等の整備と、その毎日の生活の場としての環境の充実が求められています。	放課後の子どもが地域で安心して過ごせる！	児童育成クラブの定員	人	目標値	—	840	900	970	 101.0%
						実績値	810	870	930	980	
16	地域ぐるみの子ども・子育て支援	○子育てに不安や悩みを抱える家庭が増え、さらには子育て家庭の経済的困窮や児童虐待問題なども増加し深刻化しています。 ●地域の子育て支援ネットワークの充実とともに、特別な支援を必要とする子どもと家庭については、その自立を促進する基盤の強化が求められています。	家庭の子育て力が高まる！	つどいの広場利用者数	千人（延べ）	目標値	—	24.0	29.0	32.0	 70.3%
						実績値	約13.0	約17.1	約21.2	約22.5	

◆長寿・生きがい

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●：課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
						H21	H22	H23	H24		
17	いきいきとした高齢社会の実現	○いきいきとした高齢社会の実現に向けて、高齢期の健康と生きがいづくりがますます重要となってきています。 ●高齢期にある人が、自らの健康を維持し、知識や経験・技能を活かして社会参加できるように、そのための機会を充実させていくことが求められています。	高齢期になっても地域社会で活躍する人が増える！	地域の組織やグループに加入している65歳以上の市民の割合	%	目標値	—	71.0	73.0	75.0	 68.7%
						実績値	約70.0	70.0	81.4	51.5	
18	あんしんできる高齢期の生活への支援	○誰もが安心して高齢期を迎えられるよう、介護保険サービスを基本とした生活支援のサービスを整備し提供してきています。 ●制度理解の促進と個別のニーズを踏まえた適切なサービス提供を基本に、介護予防や認知症対策へのいっそうの取り組み充実が求められます。	困った時に相談できる窓口を知っている人が増える！	高齢者相談件数	件	目標値	—	7,000	7,200	7,600	 97.3%
						実績値	5,763	10,181	9,031	7,395	

◆障害福祉

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
						H21	H22	H23	H24		
19	障害のある人の生活支援	○3障害統合の障害福祉サービスを提供し、障害のある人の生活のための総合的な支援ができる体制の整備を進めてきています。 ●生活支援サービス基盤のさらなる整備を行うとともに、適切なケアマネジメントによるサービス提供を行っていくことが求められています。	障害のある人とその家族が地域で安心して生活できる！	居住サポート相談機関の数	機関	目標値	—	0	1	1	 0.0%
						実績値	0	0	0	0	
20	障害のある人の社会参加の促進	○障害のある人が、就労・余暇活動など地域社会の様々な活動に安心して参加できるよう、その機会拡充を図る必要があります。 ●障害のある人もない人も、誰もが自らの意思と能力に基づいて、あらゆる活動に参画できる地域社会をつくっていくことが求められています。	障害のあるにかかわらず、互いを認め尊敬しあえるたくさんのお出合いがある！	障害者福祉センターのふれあい・交流事業の参加者数	人（延べ）	目標値	—	1,700	1,800	1,900	 106.4%
						実績値	1,333	1,662	1,493	2,022	

◆地域福祉

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
						H21	H22	H23	H24		
21	「地域力」のあるまちづくり	○少子・高齢化や小世帯化、商店街の衰退などを背景に、隣近所のつながりが希薄化し、地域コミュニティの持つ「地域力」が低下しています。 ●小地域を単位とした相互の支えあいを強め、ひとり暮らし世帯や高齢世帯などが地域社会から孤立しないよう図っていく必要があります。	「向こう三軒両隣」で助け合える！	対象者に占める災害時要援護者名簿への登録者数	人（累計）	目標値	—	2,500	3,000	3,500	 88.1%
						実績値	0	2,094	2,785	3,085	

◆健康・保険

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
						H21	H22	H23	H24		
22	市民の健康づくり	○健康への関心が高まっている一方で生活習慣病への誤った認識が広がっている、また、医療ニーズが多様化しているなどの状況があります。 ●誰もがよい生活習慣を獲得できるよう正しい知識を周知し、「自分の健康を自分で守る」「地域の健康づくりをリードする」市民を増やす必要があります。	自ら健康づくりに取り組む人が増える！	健康推進員が実施する事業への参加者数	千人（延べ）	目標値	—	20.0	21.2	22.5	 144.9%
						実績値	18.7	24.5	31.4	32.6	
23	医療保険制度等の適正運用	○高齢化の進展や医療の高度化などを背景に、医療保険等の制度を、将来にわたって持続可能なものとなるよう見直し求められています。 ●保険者として現行制度を適正に運用するとともに、被保険者である市民の制度理解、健康管理意識の高揚などを行う必要があります。	医療保険制度が健全に運用されている！	特定健康診査受診率	%	目標値	—	50.0	60.0	65.0	 52.5%
						実績値	36.7	35.0	34.2	34.1	

◆生活安心

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●：課題】	目標像	ベンチマーク	単位		H21	H22	H23	H24	目標達成度
24	生活安定への支援	○景気動向に伴う企業の低迷・倒産等によって、市民の間に生活の安定を確保することが困難な状況が生じています。 ●最低限度の生活保障のため、各種社会保障制度や生活保護制度の適正運用により総合的に支援する必要があります。	最低限の生活が保障されている！	自立を理由として生活保護を廃止したケースの比率	%	目標値	—	5.0	5.0	5.0	 30.0%
						実績値	5.0	6.6	3.5	1.5	
25	暮らしの安心の確保	○消費者トラブルが複雑化するなか、国では消費者庁を新たに設置し、対応の強化を図っています。 ●消費生活相談のさらなる増加・複雑化に備え、消費生活相談員による相談体制の充実と消費者団体の育成にいっそう努める必要があります。	安心して消費生活ができる！	消費生活相談件数	件	目標値	—	1,090	1,090	1,090	 87.2%
						実績値	768	1,044	984	951	
26	火葬場・墓地の適正管理と公衆衛生の向上	○火葬需要に適切に対応し、遺族等へのサービスの向上と墓地の適正管理に努めています。 ●火葬場の老朽化が進んでいること、また、野々花霊苑など公営墓地に対する空きへの需要に対応していく必要があります。	飼い犬はすべて狂犬病の予防注射を行っている！	狂犬病予防接種率	%	目標値	—	70.0	70.0	70.0	 113.6%
						実績値	66.9	73.9	74.9	79.5	

◆防犯・防災

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●：課題】	目標像	ベンチマーク	単位		H21	H22	H23	H24	目標達成度
27	災害に強いまちづくり	○まちづくりの基本として市民生活の安心を守っていくため、地震や火事等の災害に対するまちの備えを強化充実させてきています。 ●都市基盤整備による防災機能の強化や建築物の耐震化を図るとともに、市民意識の高揚と防災・消防体制の強化充実が求められています。	地域防災の意識が高い！	自主防災組織率	%	目標値	—	93.1	95.6	98.0	 93.9%
						実績値	87.7	93.4	92.5	92.0	
28	犯罪のないまちづくり	○市民一人ひとりの防犯意識と、地域コミュニティの醸成による犯罪抑止力の向上を図ることで、犯罪のないまちづくりを進めてきています。 ●市民の防犯意識のいっそうの向上と地域防犯活動の展開、また、不安箇所の解消等によって犯罪を未然に防ぐまちづくりをさらに進める必要があります。	犯罪認知件数が減る！	犯罪認知件数	件	目標値	—	1,500	1,000	1,000	 43.7%
						実績値	2,000	2,118	1,850	2,287	

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
						H21	H22	H23	H24		
29	治水対策	○市内に、排水能力が不足している河川が存在していることから、大雨時に河川の氾濫が危惧されます。 ●重点整備による効率的な整備が必要ですが、雨水排除に重要となる一級河川整備の進捗の遅れが、雨水整備計画の支障となっています。	治水対策が進んでいる！	雨水排水路整備率（進捗／計画） ※（）内は認可面積見直し後の数値	%	目標値	—	66.4	65.5	65.9	 97.6%
						実績値	62.1	62.3	60.2	64.3	

「心地よさ」が感じられるまちへ

◆うるおい・景観

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
						H21	H22	H23	H24		
30	やすらぎ・憩いの環境づくり	○市域の広範囲で開発事業による宅地化が進んでいますが、市民がやすらぎと憩いを得られる場所が不足しています。 ●総合公園から街区公園まで、利用目的に応じた公園の整備が求められるとともに、まちなみに緑を増していくことが求められています。	市民が利用できる公園・緑地が増える！	公園・緑地面積	ha	目標値	—	64.5	64.6	64.7	 104.6%
						実績値	62.6	67.2	67.4	67.7	
31	良好な景観の保全と創出	○優れた景観は、市民の心に安らぎやゆとりをもたらすだけでなく、この地を訪れる人にまで感動を与える市民共通の財産です。 ●歴史的・文化的資産を生かした景観、自然景観などを保全・活用するとともに、良好なまちなみ・都市景観の創出を進めていく必要があります。	誰もが快適で心地いいと感じる場所が増える！	市内および居住地周辺の景観に好感が持てると感じる市民の割合	%	目標値	—	28.0	28.0	31.0	 84.8%
						実績値	27.5	31.5	33.4	26.3	

◆環境

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
						H21	H22	H23	H24		
32	自然とともに生活する環境づくり	○生物多様性に配慮した開発・まちづくりが、ひいては、人とまちにうるおいと豊かさをもたらすことが、広く認知されてきています。 ●自然の一部として人がこの地に生きるうえで、もともとある地形や生物多様性に十分な配慮をすることが求められます。	多種多様な生物が生息する空間が増える！	自然環境保全地区	地区	目標値	—	15	15	17	 94.1%
						実績値	15	15	16	16	

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●：課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
						H21	H22	H23	H24		
33	環境学習の充実	○次世代を担う子どもを主な対象として、総合的な環境学習の展開を進めています。 ●持続可能な社会実現のため、環境学習の重要性がますます高まっており、「くさつエコ・ミュージアム」のいっそうの充実・活用が求められます。	環境学習に参画する団体が増える！	子ども環境会議参加団体数	団体	目標値	—	57	59	61	 98.4%
						実績値	55	59	56	60	
34	地球温暖化対策への貢献	○温暖化防止条例（「愛する地球のために約束する草津市条例」）の施行を受け、温暖化対策地域推進計画に基づく諸施策を実施しています。 ●低炭素社会の実現を目指し、地球温暖化対策についての周知・広報に努めるとともに、省エネルギー、新エネルギー利用の促進を図ります。	地球温暖化対策に関する市民活動が活発である！	地球温暖化対策に取り組む市民の割合	%	目標値	—	57.0	59.0	61.0	 83.4%
						実績値	54.9	50.4	51.0	50.9	
35	資源循環型社会の構築と廃棄物の適正処理	○イベント等を通じ、市民のリサイクル、ごみ減量・資源化の推進や環境美化の推進を図るとともに、廃棄物の適正処理を行ってきています。 ●資源有効活用についての啓発、指導等を積極的に行って市民の意識を高め、実践行動をさらに促進していく必要があります。	家庭や事業所からのごみの量が減る！	ごみの資源化率	%	目標値	—	15.7	22.3	22.5	 86.2%
						実績値	15.6	16.3	18.4	19.4	
36	環境汚染・公害への適切な対策	○必要な環境調査・環境影響評価等を実施し、公害規制基準の遵守と公害リスクの管理を行ってきています。 ●住工混在地域での騒音、悪臭など、生活に身近な環境公害が増えてきています。	環境基準が常に達成されている！	環境管理基準(BOD)の達成状況 (達成回数/測定回数)	%	目標値	—	24/24	24/24	24/24	 83.3%
						実績値	21/24	21/24	21/24	20/24	

◆住宅・住生活

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●：課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
						H21	H22	H23	H24		
37	住まいと住生活の魅力向上	○昭和40年代から住宅開発が大きく進み、近年は大学の立地もあいまって、JR駅周辺を中心とした“まちなか”の市街地整備と住宅開発が続いています。 ●成熟の段階を迎えた既成市街地の良好な環境を守るとともに、ゆとりとうるおいある市街地整備・住宅開発を誘導していく必要があります。	誰もが住みたい・住み続けたいと感じる、魅力と安心がある！	良好な居住環境が形成されていると感じる市民の割合	%	目標値	—	54.0	56.0	58.0	 94.7%
						実績値	52.1	54.2	58.9	54.9	

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●：課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
						H21	H22	H23	H24		
38	“まちなか”の魅力向上	○“まちなか”では、計画的な市街地整備が進む一方で木造住宅の密集した地区もあり、防災面も含めて、複合的な課題が残された居住環境となっています。 ●JR草津駅東地区等の密集した市街地において、都市基盤整備と都市機能の更新を図り、“まちなか”の居住環境の質的向上を図っていく必要があります。	“まちなか”に人がつどい、ゆっくり楽しんでいる！	“まちなか”に魅力があると感じている市民の割合	%	目標値	—	19.0	19.0	22.0	 81.8%
						実績値	18.3	20.0	23.7	18.0	

◆上下水道

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●：課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
						H21	H22	H23	H24		
39	水の安定供給	○本市の水道は昭和39年から一部給水を開始し、人口急増に対応しながら拡張事業を着実に進め、概ね100%の普及率となっています。 ●老朽化が進む初期に整備した水道管や施設の更新・耐震化を推進し、適切な維持管理を行うことが最大の課題となっています。	エコにも配慮したローコストで安心・安全な水を、いつでも利用できる！	水の安定供給に対して不満を感じている市民の割合	%	目標値	—	5.9	5.4	4.9	 100.0%
						実績値	5.9	5.6	4.8	4.0	
40	汚水の適正処理	○快適な暮らしを実現し、琵琶湖を取り巻く水環境を守るために、市民・事業者等がすべて下水道に接続し、適正に管理することが大切です。 ●未整備地域があとわずかとなった今、下水道施設の普及促進と老朽化した施設の更新や機能強化などの適切な維持管理が求められます。	市内の水洗化が完了する！	水洗化率(処理区域内水洗化人口/処理区域内人口)	%	目標値	—	93.8	94.4	95.0	 100.1%
						実績値	93.2	95.0	95.0	95.1	

◆道路・交通

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●：課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
						H21	H22	H23	H24		
41	安全で快適な道路づくり	○主要幹線道路における交通量の増加と整備の遅れ等によって慢性的な交通渋滞が生じており、生活道路への交通流入量も増加傾向にあります。 ●主要幹線道路および生活道路、また、歩道・自転車道等の、計画的・体系的な整備と安全で快適な道路空間の整備が求められています。	スムーズに通行でき、草津らしさを感じる道路景観がある！	環状道路および主要な都市計画道路等の整備率(整備済延長/整備予定延長)	%	目標値	—	66.5	66.5	66.5	 103.8%
						実績値	65.6	66.9	69.3	69.0	
42	公共交通体系の充実	○公共交通空白地等の解消、移動制約者の生活交通の確保などの課題に対し、「草津市地域公共交通活性化再生協議会」を設置し検討を進めています。 ●市民・来訪者の移動利便性・生活利便性を高めるため、新たな公共交通システムを整備していく必要があります。	公共交通機関が便利で市内の移動がしやすい！	公共交通機関の利便性に満足している市民の割合	%	目標値	—	40.0	43.0	45.0	 83.1%
						実績値	33.4	38.3	36.6	37.4	

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
						H21	H22	H23	H24		
43	バリアのないまちづくり	○公共公益的な建築物等に対してバリアフリー化を指導していますが、県の条例に強制力がないことから、整備が進まない状況にあります。 ●今後とも、継続的かつ精力的にバリアフリー化の促進を図り、指導を行うとともに、市内移動の円滑化を進めていく必要があります。	車いすで“まちなか”を自由に移動できる！	まちなかに障壁(バリア)が少ないと思う市民の割合	%	目標値	—	23.0	24.0	25.0	 82.0%
						実績値	21.5	24.8	25.5	20.5	

「活気」があふれるまちへ

◆農林水産

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
						H21	H22	H23	H24		
44	農業の振興	○食と農への消費者の関心が高まる一方で、農業者の高齢化等により、農村活力の低下と本市農業の担い手不足がいつそう深刻化してきています。 ●業として成り立つ農業経営の確立と活力ある農業人材の確保、また、食と連携した地産地消の仕組みづくりが求められます。	地元農産物を求める市民が増える！	地元の農産物を購入するよう心掛けている市民の割合	%	目標値	—	66.0	68.0	70.0	 83.9%
						実績値	63.8	59.0	60.1	58.7	
45	水産業等の振興	○琵琶湖の水質汚濁や湖岸堤整備、侵略的外来魚の定着等を要因に漁獲量は年々減少し、水産業者も高齢化や後継者不足が著しく進んでいます。 ●漁場環境の保全・確保と栽培漁業への転換、また、観光漁業など経営の多角的展開を進めて、水産業基盤の確立と後継者確保を図る必要があります。	琵琶湖固有の魚が増え、その魚を買う人が増える！	地元の水産物を購入するよう心掛けている市民の割合	%	目標値	—	34.0	35.0	36.0	 88.3%
						実績値	33.8	36.6	34.3	31.8	

◆商工観光

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
						H21	H22	H23	H24		
46	工業の振興	○恵まれた交通の利便性のもとで企業立地が進んでいることに加え、ベンチャー企業育成施設や技術力の高い中小企業等が集積しています。 ●まとまった用地の確保と併せた企業立地優位性の対外発信や、積極的な企業支援、中小企業等の技術力のPRと販路の開拓・拡大が求められます。	元気な企業がたくさん集まる！	創業・第二創業した企業の立地件数	企業(累計)	目標値	—	13	17	21	 104.8%
						実績値	9	11	18	22	
47	商業の振興	○本市を含む琵琶湖南部地域は、非常に消費購買力が高く、全国でもまれに見る大型商業施設の集積地となっています。 ●既存商店街対大型商業施設という構図ではなく、両者の強みを引き出して共存の枠組みをつくり、地域経済発展の地盤としていく必要があります。	市内の商業者が活発に活動する！	買い物する環境が整っていると思う市民の割合	%	目標値	—	67.0	68.0	69.0	 102.0%
						実績値	66.0	71.5	76.8	70.4	

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●：課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
						H21	H22	H23	H24		
48	観光の振興	<p>○本市の観光入込客数は、“観光元年”である平成8年以降、毎年微増傾向にあります。その多くは日帰りによる立寄り観光となっています。</p> <p>●来訪者の観光ニーズに敏感に応えられるよう、広域的な連携も図りながら、限られた観光資源を最大限に生かした事業を展開することが求められます。</p>	草津を楽しむ観光客が増える！	観光の振興に満足している市民の割合	%	目標値	—	17.0	19.0	21.0	 87.1%
						実績値	15.0	18.0	17.3	18.3	
49	勤労者福祉の増進	<p>○社会・経済情勢の厳しさが継続するなか、勤労者を取り巻く環境もますます厳しさを増しています。</p> <p>●豊かでゆとりある暮らしと活力ある地域社会の基礎として、誰もが安心して働くことができる環境を守っていくことが、ますます求められています。</p>	安心して働き暮らせる！	雇用が安定し、働きやすい労働環境であると感じる市民の割合	%	目標値	—	13.0	15.0	17.0	 110.0%
						実績値	10.9	12.3	14.9	18.7	

◆コミュニティ・市民自治

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●：課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
						H21	H22	H23	H24		
50	地域コミュニティ活動の活性化	<p>○町内会、自治連合会など、地域づくり組織によって、それぞれの地域で特色ある活動が展開されています。</p> <p>●コミュニティ意識の高揚を図りながら、地域が一体となった取り組みを展開できる仕組みづくりが求められます。</p>	地域コミュニティ活動への“参加の窓口”がさまざまに用意されている！	町内会の活動に参加している市民の割合	%	目標値	—	59.0	63.0	67.0	 75.4%
						実績値	55.9	49.6	54.1	50.5	
51	市民活動の活性化	<p>○テーマによるまちづくりや地域づくりに取り組むNPO・ボランティア・各種団体の育成と支援を行っています。</p> <p>●市民活動団体間の交流・情報交換を活発にし、各地域のまちづくりの取り組みとの連携を促していくことが求められます。</p>	市民活動団体が幅広い分野で活動している！	市民活動等の団体数	団体	目標値	—	250	260	270	 87.4%
						実績値	238	238	243	236	
52	市民主体のまちづくりを支援する体制の充実	<p>○各種のまちづくり支援拠点における市民活動や、地域協働学校の取り組みなど、様々なまちづくり活動が展開されています。</p> <p>●各支援施設・機能の整備活用の経緯や状況を踏まえながら、市民主体のまちづくり活動の支援体制を再構築していく必要があります。</p>	市民まちづくり活動の支援体制が充実している！	市立まちづくりセンターの利用者数	千件（延べ）	目標値	—	90.0	91.0	92.0	 112.0%
						実績値	89.0	101.0	101.8	103.0	

◆情報・交流

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●：課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
						H21	H22	H23	H24		
53	まちづくり情報の充実	○市民によるまちづくり活動が様々に高まりを見せ、各活動がネットワークして、互いの情報を有効に活用していく段階へと進んできています。 ●まちづくりに係る地域情報や行政情報は多岐にわたって膨大であることから、より活用できる工夫を図ることが求められます。	地域のまちづくり情報が簡単に手に入る！	ポータルサイトアクセス数	千件（延べ）	目標値	—	60.0	62.0	64.0	 180.5%
						実績値	58.0	57.6	110.7	115.5	
54	多様な交流活動の展開	○市民の交流活動は、文化や地域の垣根を越えた広がりを見せています。 ●多文化交流・市民交流の促進を図るとともに、近隣自治体との連携により、効率的で効果的なまちづくりを進めていく必要があります。	新しい出会いとふれあいがある！	国際交流事業参加者数	人	目標値	—	350	360	370	 315.7%
						実績値	334	524	848	1168	
55	大学などを生かしたまちづくりの展開	○立命館大学との連携・協力を更に推進する仕組みづくりをするための気運が、大学・地域とも高まっています。 ●立命館大学の知的、人的資源を更に活用し、地域の課題解決に向けて取り組むことが求められています。	学生が地域で活躍している！	地域交流市内依頼件数	件	目標値	—	150	180	200	 71.5%
						実績値	132	148	142	143	

行財政マネジメント

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●：課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
						H21	H22	H23	H24		
56	市民から信頼される市政運営	○草津市情報公開条例に基づき、積極的に市政情報を公開するとともに、市民窓口サービスの提供等に努めています。 ●市政の透明性の確保と市民サービスの向上を図るため、今まで以上の積極的な情報公開と市民窓口サービス等の充実が求められます。	市政への市民の信頼が高い！	市政運営に信頼がおけると思う市民の割合	%	目標値	—	22.2	26.0	30.0	 70.0%
						実績値	18.4	19.4	22.7	21.0	
57	行財政資源の有効活用	○「人・物・金」を適切に配置・配分し、成果を最大限引き出す行財政マネジメントに取り組んでいます。 ●PDCAサイクルによる、適切なマネジメントを行うとともに、広域的な連携も含めた、業務・事務の効率化を図っていきます。	将来負担比率が適正に維持されている！	将来負担比率	%	目標値	—	60%以内	60%以内	60%以内	 100.0%
						実績値	13.4	14.0	0.6	—	